

編集 後記

東日本大震災から3カ月が過ぎました。災害直後の混乱期は過ぎましたが、災害の規模が大きかったことと、地震・津波・原発と何重もの被災のため、復旧復興期に入ったとはいえ、現地では先の見通しが立たない日々が続いていると思います。千年に一度と言われる大災害の実態とその復興過程を記録に残すことは重要なことですが、現地の住民や保健医療従事者の視点に立ち、倫理的行動が取れることが被災地における研究者のモラルです。

一方、全国各地からの被災地に入った公衆衛生従事者は、住民の健康管理や実態調査で重要な役割を果たしています。雨期から夏期に向け、感染症や被災者の心理的支援も重要な課題となります。自治体の再建と住民の生活の立て直しに向けては、長期の展望に立った支援が必要です。生活弱者である高齢者や障害者、乳幼児の見守りなど、より公衆衛生からの支援が求められる時期になりました。復興の状況が落ち着きを見せたら、倫理的配慮を踏まえた活動報告や調査報告が投稿されることを期待いたします。

本号では、病棟勤務の看護師の就業意向、女性医師の就労、特定高齢者の介護予防、孤立高齢者のソーシャルサポートの4本の原著論文と、環境政策への市民参加の調査の計5本の研究論文が掲載されています。働き続けること、社会とのかかわりを持ちながら生きていくことをテーマにした論文です。掲載された論文と毎日のニュースをとおして、公衆衛生の幅の広さと包容力を感じます。(佐伯和子)

次号予告 (第58巻・第7号)

原著

都市郊外在宅高齢者の身体的、精神的、社会的健康の6年間経年変化とその因果関係
.....星 旦二, 他
ゲイ・バイセクシュアル男性における HIV 感染予防行動のステージと関連要因
大阪市内での商業施設利用者への質問紙調査から.....金子典代, 他

研究ノート

妊産婦と乳幼児の健康を支援する手帳制度の変遷と公衆衛生行政上の意義について.....中島正夫
小児救急無料パンフレットの保管率と保護者の意見.....丹 佳子

資料

精神障害者の地域移行における住居確保に関する市区町村の支援状況.....福永一郎, 他

連載

健康の社会的決定要因(11).....近藤克則
ヘルスサービスリサーチ(12).....大河内二郎
社会と健康を科学するパブリックヘルス(8)
.....石崎達郎

『第39回建築物環境衛生管理全国大会 研究集会発表課題募集について』

本研究集会は、建築物の環境衛生管理技術の向上を図ることを目的として、建築物環境衛生管理技術者等の建築物の衛生管理に従事している方々を中心として、これに関係行政庁の担当者及び研究機関の研究者のご参加をいただくこととしております。

なお、発表は、「調査研究部門」「事例報告部門」の2部門にて行っており、次の「発表課題の分類」に掲げる課題に関連する出題を募集しております。

[発表課題の分類]

- A. 建築物と健康影響 (微生物等 (細菌, ウイルス, カビ等))
- B. 建築物の空気環境 (空調設備の維持管理・空気質等)
- C. 建築物の給排水 (給排水設備の維持管理・水質等)
- D. 建築物の清掃・廃棄物
- E. ねずみ・害虫等
- F. その他 (建築設備 (省エネを含む)・照明・騒音・振動等・居住環境・都市計画・建築物衛生法促進活動状況等)

[発表時間] 原則として1課題10分程度

募集期間: 平成23年8月5日(金)まで

会 期: 平成24年1月19日(木)・20日(金)

会 場: 財日本教育会館一ツ橋ホール (千代田区一ツ橋2-6-2)

その他、発表課題募集要領詳細につきましては、財ビル管理教育センター HP (<http://www.bmec.or.jp/event>) をご参照ください。